

学校名	学年	教科
川越中学校	第1学年	国語

1. 学習のねらい等

学習のねらい	○目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。 ○目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。 ○目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。
使用教材	教科書・国語便覧・学習漢字ノート・文法ワーク・国語ワークなど

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①国語への関心・意欲・態度	・授業の用意を整え、積極的に学習活動に取り組める。 ・予習や課題に取り組み、提出物は期限を守って出せる。 ・ノートをわかりやすくまとめられる。 ・様々な分野の本に関心を持ち、進んで読書ができる。	・授業中の意欲(態度・発表意欲) ・ノート・課題などの提出状況 ・定期テストや小テストなど
②話す・聞く	・自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりできる。 ・全体と部分、事実と意見との関係に注意して、話したり聞き取ったりできる。	・授業中の様子 ・発表の内容 ・朗読の技能 ・聞き取りテスト ・スピーチ
③書く	・身近な生活や学習の中から課題を見つけ、材料を集め、自分の考えをまとめられる。 ・書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすくわかりやすい文章にすることができる。	・ノートや課題プリントなどの作成状況 ・作文、読書感想文など ・定期テストや評価テスト
④読む	・文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解することができる。 ・文章の展開に即して内容をとらえ、目的や必要に応じて要約することができる。 ・文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえ、内容を理解できる。	・ノート、課題などの提出物 ・朗読 ・定期テストや評価テスト

⑤言語についての知識・理解・技能	・言葉のきまりを理解し、漢字や語句などを正しく使うことができる。 ・意欲的に辞典を活用し、文中の語句の意味がわかる。 ・文字の字形を整え、大きさ、配列に気をつけて正しく書くことができる。	・ノート、課題などの提出物 ・定期テストや評価テスト ・書写(毛筆・硬筆)
-------------------------	---	---

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 年 1 学 期	言葉に出会うために「野原はうたう」 1. 学びをひらく ・「花曇りの向こう」 ・わかりやすく説明しよう ・漢字1 漢字の組み立てと部首 2. 新しい視点へ ・「ダイコンは大きな根？」 ・「ちよっと立ち止まって」 ・話す・聞く「好きなもの」を紹介しよう ・言語1 話し言葉と書き言葉 3. 言葉をつなぐ ・詩の世界 ・「空を見上げて」 ・硬筆 ・文法①「言葉の単位」	①作品に親しもうとしている。 ②くり返し音読・朗読することで、語感を磨き、リズムを楽しめる。 ②話の構成や展開を考えて聞き分け、ノートにまとめられる。 ③興味をもって想像力豊かに、積極的に詩作に取り組める。 ③事実と考察の関係に着目して論理の展開を読み取り、自然や社会についての自分の考えを書くことができる。 ③全体の構成を考え、表現を工夫して文章を書くことができる。 ④作者の物の見方などをとらえることができる。 ④登場人物の行動から、気持ちの変化をとらえることができる。 ⑤漢字の字形を組み立てと部首から理解し、書体についての知識を深めている。 ⑤字形・文字の大きさなどに注意して楷書や行書が書ける。 ⑤言葉の単位について理解している。
1 学 年 2 学 期	4. つながりの中で ・「星の花が降るころに」 ・「大人になれなかった弟たちに…」 ・「シカの「落ち穂拾い」」 ・調べたことを報告しよう ・漢字2 漢字の音訓 ・言語2 指示する語句と接続する語句 5. いにしへの心に触れる ・「いろは歌」・「月に思う」 ・「蓬萊の玉の枝」 ・「今に生きる言葉」 ・「竹」 ・毛筆 ・文法②「文の組み立て」	①作品に親しもうとしている。 ①古典の世界に親しもうとしている。 ②古典を音読、暗唱することで、歴史的仮名遣い、難語句、古文のリズムなどに気をつけて読むことができる。 ②伝える目的に応じて、情報を検索したり選択したりし、正しく話そうとしている。 ③わかりやすく伝えるために項目を整理してまとめることができる。③語句や表現に即して出来事や場面の状況を読み取り、自分の意見をまとめることができる。 ④展開に即して、人物の置かれていた状況やどのような人間関係の中で生きていたのかを読み取ることができる。 ⑤字形・文字の大きさなどに注意して楷書や行書が書ける。 ⑤文の組み立てについて理解している。
1 学 年 3 学 期	6. 論点をとらえる ・「幻の魚は生きていた」 根拠を明確にして魅力を伝えよう 7. 自分を見つめて ・「少年の日の思い出」 ・言語3 さまざまな表現技法 ・漢字3 漢字の成り立ち ・「ぼくがここに」 ・毛筆 ・文法③「単語の分類」「体言」	①詩歌に親しもうとしている。 ②情報を検索したり選択したりし、正しく話す力を身につけている。 ③読みやすく、わかりやすい文章になるよう工夫して書くことができる。 ③全体の構成を考え、表現を工夫して文章を書くことができる。 ④展開に即して、人物の置かれていた状況やどのような人間関係の中で生きていたのかを読み取ることができる。 ④主題を考えながら、展開に注意して読み進めることができる。 ⑤漢字の成り立ちと構成を理解している。 ⑤字形・文字の大きさなどに注意して楷書や行書が書ける。 ⑤単語の分類と体言について理解している。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	・忘れ物をせず、授業に集中して取り組みましょう。 ・人の意見はしっかり聞き、自分の意見を進んで発表しましょう。 ・板書はていねいにノートにまとめ、配られたプリント類は保管して見直しましょう。 ・図書室を利用するとともに、朝の読書に落ち着いて取り組みましょう。
	家 庭	・教科書を繰り返し、音読しましょう。 ・わからない漢字や語句は、こまめに辞典で調べましょう。 ・漢字学習ノートを利用し、根気よく漢字学習に取り組みましょう。 ・本や新聞などを積極的に読みましょう。